

わたしたちは当たり前に学校に通えていて学校なんて行きたくないと思うけど、ルワンダやほかの国の子達は学校に行きたくても行けない子や色々な事情を持っている子達がいるから今私たちが当たり前のように、学校に通えていることに感謝し、色々な子達がいることも頭に入れてこれからの学校生活や日常に取り組んで生活していきたくおもいました。ルダシングワ真美さんとルダシングワガテラさんは色々な人のことを助けていてとてもすごいなと思った。私もしょうらい困っているひとを、あたりまえのように助けられる大人になりたいです。あたりまえのことをあたりまえのようにできる人になりたいです。これからは貴重なお話のときはしっかりと真剣にお話をきき、そのお話を聴けていることに感謝する。

自分達と同年だった体がふじうな女の子は5メートル歩いたら5分ぐらいに休んで学校に行くのを繰り返していることを聞いたとき学校に行くことは当たり前ではないことが改めてわかるすごい良い話を聞いたと思った。その事をふまえて今後の自分の過ごし方にも今日の聞いた話を意識しながら過ごして行けたら良いと思いました。そして学校に行くことにも日頃感謝しながら学校生活を過ごせていったらいいと思います

自分が今日印象に残ったのは自分達とおなじ年齢の女の子が歩けないのにもかかわらず一生懸命頑張って休みながらでも自分で行っているということですしかもその女の子は雨の日も傘が自分で使えないので雨の日は濡れて学校に行かないということがとても辛いのに頑張っていったるなと思いました、自分は普段学校に自転車で行っているのですが雨の日などは親が車で送ってってくれたりするので雨の日も楽に行けますが、歩けない女の子は雨の日も自分で行くので本当にすごいと思いました、今回の授業で学んだ事は自分達の普段の生活は当たり前ではないと言うことですなのでこれからは普段自分が出来ていることに感謝をして普段の生活を当たり前だと思わず一分一秒を大切にしていきたいです。これからの生活で活かそうと思った事は諦めたくなくても絶対に諦めないということです普段から僕は色々なことを諦めてしまう癖があるので、これからは勉強や運動などを積極的にして、諦めることを諦めます。

自分は恵まれた環境でありながら、めんどくさいなと思うこともさぼりがちになっちゃう時があるし、でもこのような環境でも必死に生きている人たちがたくさんいることを知ったし自分も頑張れるときに頑張って自分の今の目標を達成できるように今回の講演会をもとに二学期も頑張りたいなと思えました。

ルワンダ国際理解講演会で印象に残ったのは、かつて内戦で苦しんだルワンダが「赦し」と「対話」を大切にし、平和を築いているという話です。私たちの身近な生活では、意見の違いやトラブルが起きると感情的になりがちですが、ルワンダの人々のように相手を理解し、対話を通じて解決する姿勢を見習うべきだと感じました。また、自分の生活を振り返ると、日常の小さな不満や不平にとられすぎていたことに気づき、感謝の心を持つことの大切さを学びました。今後は、相手の立場に立って考える力や、対話によってより良い関係を築くことを目指したいと思います。そして、自分の行動が周囲にどのような影響を与えるかを意識し、より思いやりのある行動を心がけていきたいです。

「過去の悲しみを乗り越え、前向きに生きる力」についての話でした。ルワンダでは 1994 年に大虐殺という大変悲しい出来事があり、多くの人々が家族や友人を失いました。それでも、ガテラさんは「許し合うこと」「未来のために今を大切にすること」の大切さを語っておられ、心を打たれました。日々、私は些細なことでイライラしたり、人のことをすぐに批判したりしてしまうことがあります。しかし、ガテラさんたちの話を聞いて、自分の行動や言葉が人に与える影響についてもっと考えるべきだと感じました。

また、真美さんが通訳をしながら夫婦で力を合わせて講演をしていた姿から、「相手を尊重して支え合うこと」の大切さも学びました。今後は、自分の日々の生活の中でも、人の話をしっかり聞き、相手の立場に立って考える姿勢を大切にしたいと思います。次回からは、国際的な問題にも関心を持ち、世界で起きていることに目を向けながら、自分ができる小さな行動を見つけていくことを目標にしていきたいです。

少しでも不自由な人の事を考えて生活していきたいと思いました。自分の周りや身近に居たら可哀想だなと思うだけだったけど、自分がその立場で何かされたら嬉しいかなど考えて行動できたらいいなと思いました。だい虐殺の話を書いたときすごい辛い話だと思い普段平和に暮らしている中必死に戦っている人もいるんだなと思いました。ギブスをつくるのもすごく履いてもらえるのもきつと作ってる側からしたら嬉しいんだなと思いました。

今回で学んだのは、まわりのひとのことをもっと考えて、不自由な人や、体が動かしづらい人たちの人の気持ちを考え自分だけが有利や、不平等にならないようにしようと思いました。だから、いつも家とかでしていても何も考えていなかったのを、変えて、これから周りのことをもっと考えて生きていこうと思いました。

困難な状況の中でも前向きに生きる姿勢や、人とのつながりを大切にする姿に強く心を打たれました。障害は「かわいそう」なものではなく、見方を変えれば個性や強さにもなりうると感じました。今後は、自分とは違う文化を持つ人達と接する際には、相手の立場や背景を理解しようとする姿勢を大切にしたいと思います。外見だけで人を判断せず、それぞれの背景や思いに目を向けられる人になりたいです。この講演を通して、国際社会の一員として必要な視点を持つことができました。これからも視野を広げ、様々な価値観を受け入れられる人になりたいです。共に生きる社会とはどうあるべきかを深く考えるきっかけになりました。

平和は当たり前ではなく、一人ひとりの意識と行動によって守られているのだと学びました。また、違いを認め合い、相手を尊重することの大切さにも気づかされました。日々の生活の中で、何げない言葉や態度が相手を傷つけてしまうことがあるかもしれないと反省しました。今後は、自分の発言や行動にもっと責任を持ち、誰に対しても思いやりの心で接するよう心がけたいです。そして、小さなことでも人のために行動できるようにすることを目標にしたいと思いました。

今日来たルワンダの人はたくさんの経験をしてそれを五日市高校まで来て話してくれた。だからこそこの話を聞いて俺は人助けをしたいとここから思いました。俺にできる事は優しく声を掛け誰か

の背中を支えられるようなカッコいい人になりたい。俺に出来る事は少ないけど、みんなでやればきっとものすごい力になると感じたお話でした。この話を聞いて今後1分1秒を大切に過ごしていきたいと思いました。自分の日々の生活で学校に行ってること、勉強していること、楽しく過ごしていること、いろいろ考えて過ごしていきたいと思いました。アフリカのことわざの山と山は出会わないが人と人は出会うということわざがすごく印象に残りました。これからは自分の生活を見直して生活していきたいです。

今こうやって普通に過ごせているのがどれだけ幸せなことなのか、日頃からしっかりとした生活を送らないといつ何が起こるかわからないから日頃からちゃんとする。メリハリのある行動をする。自分たちもすこしでも大変な思いをしている人達の手助けがちっちゃいことからでもすることといった事を学びました。今回の公演で沢山の事を考えさせられました日頃からそういったことを意識しながら過ごそうと思います。

今日の国際理解講演会で特に印象に残ったのは、違いを受け入れることの大切さという話でした。世界にはさまざまな文化や価値観を持った人がいることを、写真や体験談を通して知ることができ、普段の自分の視野の狭さを感じました。日々の生活の中では、つい自分の価値観や考えが当たり前だと思ってしまいがちですが、今日の話を聞いて、それが決して当たり前ではないことに気づきました。例えば、友達との会話でも、違う意見を変だと決めつけるのではなく、そういう考え方もあるんだと受け止める姿勢が必要だと感じました。

また、異なる文化を学ぶことで、自分自身の視野が広がり、将来、国際的な場面でも活躍できる力につながることを学びました。これからはニュースなどで海外の出来事に関心を持つことや、外国の友達ともっと積極的に話すことを目標にしたいです。今日の講演をきっかけに、自分の考え方を見詰め直し、より柔軟で広い心を持つことを意識していきたいと思います。

今回の講演を通じて、異文化を知ろうとする姿勢や、相手を尊重する心の持ち方の大切さを学びました。特に、「知らないことを恥ずかしがるよりも、知ろうとしないことの方が問題だ」という言葉は、強く心に残りました。この経験をふまえて、今後は自分の中の偏見や無関心を減らし、日々の中で「違い」を楽しめるようになりたいと思いました。また、学校の中で外国にルーツを持つ人と積極的に関わり、自分から話しかけていくことを目標にしたいです。そして、将来は国際的な視野を持ち、どのような人とも対等に接することができる人になりたいと思いました。

差別や偏見、無関心が社会に広がるとき、どこであっても同じような悲劇が起こりうることを忘れてはなりません。平和や人権、共生の価値を守るには、歴史から学び続け、一人ひとりが責任ある行動を取ることが求められています。ルワンダの悲劇を記憶し続けることが、未来への第一歩だと強く感じます。

今後は自分の中の偏見や無関心を減らして、日々の中で「違い」を楽しめるようになりたいと思いました。また、学校の中で外国にルーツを持つ人と積極的に関わり、自分から話しかけていくことを目標にしたいです。そして、将来は国際的な視野を持ち、どのような人とも対等に接することができる人になりたいと思いました。